

ヴォイスドラマ 日常の中の非日常 くちよつとした混乱く 脚本

加賀美（NA） 日常の中の非日常 くちよつとした混乱く

加賀美 失礼します

風見 おう、誠一郎、よく来てくれたな

加賀美 先輩……来ないと昔の失態を言いふらすって脅しという科白ですか、まったく

風見 まあそう怒るな。それだけ重要な話だということだ

加賀美 ……（ため息）。で、何です？ 重要な話って

風見 う、うん……

加賀美、風見の言葉を待つ

待つ

待つ……

加賀美 先輩？

風見 （軽く咳払いして）け……

加賀美 け？

風見 け……、け、け……

加賀美 ちよ、大丈夫ですか？ 笑ってるんですか？

風見 ちがーう！ ケツコンしてくれ！

加賀美 ！ い、嫌だ！ 嫌ですよ！ 嫌に決まってるでしょ！ そんな趣味はない！

風見 それも違う！ オレじゃない！ オレの姉貴とだ！

加賀美 ……へ？ 沙希子さん、と？

時間経過。

加賀美 どういうことですか？

風見 うん、実はな？ オレには十七歳年の離れた姉がいるんだがな

加賀美 知ってますよ。親子みたいに年が離れてるって高校の七つの伝説の一つでしたしね

風見 そうなんだよ。でな、もうすぐ姉貴が三十代最後の日を迎えようとしているんだ

加賀美 それは……おめでとうございます、というべきなんでしょうか？

風見 任せる

加賀美 あ、投げた

風見 人聞きの悪い事を言うな。本題に影響のない話題だから委託しただけだ

加賀美 はいはい。それで？

風見 そういうタイミングに来てるわけなんだが、何故か浮いた話がないんだよ。弟の俺が言うのも

加賀美 なんだが、姉貴は美人だし、性格も素直で優しい、おまけに美人で、気立てもいい、美人で、

プロポーションだってまだまだいける、二十代後半に見られることも多いし、美人だししとやか

加賀美 かし美人だ。

加賀美 美人が6回出てきましたよ

風見 美人なんだよ！

加賀美 7回目。知ってますよ

風見 お、おう、そうか

加賀美 でもねえ、先輩には十七歳でもオレには十九歳ですよ？ 親子じゃないですかほとんど
風見 大丈夫だ。親子には見えない。実の弟の俺が言うんだから、間違いない
加賀美 胡散臭い

風見 真面目な話をしてるんだぞ、真面目に聞け！

加賀美 真面目ですよ

風見 俺たちさ、高校時代からの付き合いじゃないか。A○Bの魅力に気付かせてやったのは他でもない俺じゃない、かつ！

加賀美 それとこれとは話が別でしょうが。大体、劇場に独りで行くのは寂しいとか言って強引に連れて行ったんですよ。先輩の命令を聞けんのかとか言ってる

風見 それに、オレは風見、お前は加賀美、ほら、苗字だってそっくり。母音が同じで違和感なしだそんなこと言ってるんじゃないやしません！

加賀美 何がそんなに気に入らないんだ。愛があれば歳の差なんて全く意味を成さんぞそもそも愛がないです

風見 なんだ加賀美、お前オレの姉貴嫌いなのか？ 美人なのに

加賀美 や、好きとか嫌いとかでなくですわね

風見 それなら問題ないな。オレだっていきなり入籍しろなんて無茶は言わん。結婚を前提に付き合
い始めれば未来は一つだ。フツ……

加賀美 自分の言葉に酔わないで下さい

風見 悪い話じゃないと思うんだがなあ

加賀美 先輩は重要な事を忘れてます

風見 なんだよ？

加賀美 オレと沙希子さんが結婚したら、先輩はオレを「お兄さん」って呼ばなきゃいけないから
すよ？

風見 ハッ！

SE ガーン！

風見 気付かな………かった………

加賀美 先輩………？

風見 (咳払いをして) じゃ、そういうことで！ お疲れ！ じゃあ！

加賀美 へ？

風見 なんか喰って帰ろつと。何にしようかな。 (遠ざかっていく風見)

加賀美 あれ？ なんだあ？

加賀美 (NA) 日常の中の非日常 くちよつとした混乱

脚本、結城偈斗 (読みはゆうきげつと) 演出・演出担当者名

出演・加賀美誠一郎担当声優名

風見 (NA) 風見優介担当声優名

以上でお送りしました